



大門小だより

4月号

大門大好き いい仲間 進んで学ぼう 元気な子

平成31年4月5日

横浜市立大門小学校

2019年度のスタート

校長 佐藤 峰子

支度 黒田 三郎

何の匂いでしょう

これは

これは

春の匂い

真新しい着地の匂い

真新しい革の匂い

新しいものの

新しい匂い

匂いのなかに

希望も

夢も

幸福も

うっとり

浮かんでくるようです

ごったがえす

人いきれのなかで

だけどちよっぴり

気がかりです

心の支度は

どうでしょう

もうできましたか

(光村図書6年)

「支度」は光村図書6年国語の教科書に載っている詩です。

厳しい冬の寒さを乗り越えて、桜・チューリップ・スイートピーなどの花々が咲き出す春は、新しい世界へ一歩踏み出す季節です。学校は、新学期を迎えます。

小学校1年生は新しいランドセルを背負い、中学生は新しい制服に身を包み、これからの新しい生活に胸を躍らせていることでしょう。洋服の「真新しい着地の匂い」、ランドセルや鞆などの「新しい皮の匂い」、そしてピカピカの1年生を取り巻く全ての「新しいもの」「新しい匂い」・・・それらはみんな「春の匂い」です。1年生だけでなく、在校生たちも、新学期に向かって、それぞれ夢や希望をいただいています。快い春の匂いの中にいる人々に、作者の黒田さんは、ちょっぴり気がかりなこととして、新しい生活を迎える心の準備はできていますかと問いかけているのです。

4月4日正門にある桜の花びらが舞う中、新しい6年生が新学期の準備のために登校してきました。入学式の会場となる体育館を整えたり、1年生の教室を飾り付けたり、掃除をしたりと、職員と一緒に働きました。仕事をしながら、子ども一人ひとりが、最高学年としての「心の支度」をしているように感じました。私たち職員も、新しい出会いの中で、子どもたちとともに歩む一年間に思いをはせ、気持ちの引き締まる思いでした。子どもだけでなく私たち職員も「心の支度」をして新学期を迎えました。

4月5日、ピカピカの1年生96名が入学しました。全校児童658名で大門小学校2019年度がスタートしました。

大門小学校の子どもたちが、生き生きと学校生活を送れるように、全職員で学校教育活動を創っていきます。保護者・地域の皆様には、今年度もご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。